

# C's MAIL

シーズ・メイル

## 株主通信

vol.86 2018年度  
事業のご報告

2018年4月1日～2019年3月31日  
証券コード：5021

ココロも満タンに



 コスモ石油

# Oil & New

石油のすべてを。次の「エネルギー」を。



特集

コスモエネルギー  
グループの  
CSR経営

# Oil & New

石油のすべてを。次の「エネルギー」を。

コスモエネルギーグループは  
未来に向かって、  
さらに一步を踏み出します。



主力事業である石油開発事業、石油事業の収益力を強化し財務基盤を確立するとともに、長期的な環境変化を見据え、再生可能エネルギー事業への積極投資や石油化学事業の競争力強化など事業ポートフォリオの拡充を図ってまいります。

## コスモエネルギーグループの事業



### 石油開発

長年の信頼関係を築いてきたアラブ首長国連邦・アブダビ首長国、カタール国において原油の自主開発・生産に取り組んでいます。

> P.07



### 石油精製・販売

産油国から大型タンカーで輸入した原油は、製油所でガソリン、灯油、軽油、重油などに生まれ変わり、全国のサービスステーションや工場などのお客様に販売されています。

> P.08



### 石油化学

ポリエステル繊維やペットボトルの原料であるパラキシレン、ミックスキシレン及びプラスチックや合成ゴムの原料であるエチレンやプロピレン等の製造に携わっています。

> P.09



### 再生可能エネルギー

エネルギー供給の多角化に向け、再生可能エネルギーに注力しています。グループ会社のエコ・パワーでは、風力発電事業の拡大を図っています。

> P.10



## 新しい時代の潮流を捉え、 変わるコスモエネルギーグループ

2019年6月20日 代表取締役社長 桐山 浩

### 第6次連結中期経営計画「Oil & New」スタート

当社グループは2018年度から、『Oil & New～石油のすべてを。次の「エネルギー」を。～』をスローガンとする第6次連結中期経営計画(以下、中計)をスタートしました。当社グループを取り巻く経営環境は日々変化しておりますが、中計初年度である2018年度は、できること、すべきことを着実に進め、我々が描いている会社の未来像に近づけたと感じています。

2019年度は船舶用燃料に対するIMO規制<sup>※</sup>に対応するため堺製油所の重質油熱分解装置(コーカー)を増強し、高硫黄重油を生産しない体制を構築すべく着実に準備を進めております。加えて、再生可能エネルギー事業では、度会2期、姫神風力発電所が4月より運転を開始しました。それぞれの事業において、競争力を高め、サステナブルに成長するため更なる事業ポートフォリオの強化をめざしております。

※ 国際海事機関(IMO)が決定した、船舶の燃料油に含まれる硫黄分濃度規制の強化。

## 2018年度の在庫影響除き経常利益は

### 過去最高を更新

中計の初年度である2018年度の経常利益は前年比202億円減益の967億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比197億円減益の531億円となりました。なお、在庫影響を除いた実質的な経常利益は前年比115億円増益の1,074億円となり、過去最高を記録しました。

各事業の在庫影響を除いたセグメント経常利益の内訳は、石油事業では国内の需給改善により適正マージンを確保したものの、千葉製油所の定期修繕や堺製油所の一部装置での一時的な不具合の発生などにより、前年比129億円減益の249億円となりました。石油化学事業では、市況の下落と工場の定期修繕の影響による販売数量の減少などにより、前年比151億円減益の153億円となりました。石油開発事業では、2018年1月よりヘイル

油田でフル生産を開始したことにより生産数量が増加したため、前年比386億円増益の569億円となりました。

## 2019年度と中計の見通し

2019年度の経常利益は1,110億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比69億円増益の600億円を見込んでいます。在庫影響を除いた実質的な経常利益は、前年比14億円減益の1,060億円を見込んでいます。石油事業では、販売数量の増加や2018年度に発生した製油所の一部不具合影響の解消などにより前年比では増益、石油化学事業については、グループ会社である丸善石油化学のエチレン製造装置が非定修年であることから販売数量の増加により、前年比では増益を見込んでいます。石油開発事業では中長期的な生産数量の最大化のためにヘイル油田の生産数量を抑制するため減益を見込んでいます。

## 数値指標

### 経常利益

2018年度実績

2019年度予想

967億円 1,074億円  
(在庫影響除き)

1,110億円 1,060億円  
(在庫影響除き)

### 親会社株主に帰属する当期純利益

2018年度実績

2019年度予想

531億円

600億円

#### 在庫影響とは

民間の石油会社では、法律に従って石油を70日分備蓄する義務があるため原油価格や為替の変動は、売上原価に大きな影響を与えます。この影響を除いたものを「在庫影響除きの経常利益」として開示しております。

## 第6次連結中期経営計画 基本方針



高硫黄重油の使用を規制するIMO規制等に対応しクリーンな船舶用燃料供給で先行する等、石油事業の収益力を強化

>> 収益力を基盤とした  
財務体質の健全化



風力発電事業をはじめとした次代の成長を担う投資を実施

>> 事業活動を通じて  
SDGs実現に貢献

## CSR経営を推進する

中計と連動する連結中期CSR計画では、グループ全体でESG（環境施策・人権と社会貢献・安全とガバナンス）の観点でCSR経営を推進し、SDGs<sup>\*</sup>実現をめざして様々な取り組みを実施しております。「安全」と「人材の多様化」もその一つです。「安全」については、製油所の不具合をさらに削減するためOMS（オペレーティングマネジメントシステム）や不具合が発生する前に修繕を実施する予防保全を強化していきます。「人材の多様化」については、女性が活躍する機会を増やしつつ、働きやすい職場環境を整えるためITを活用した業務効率化を推進するなど、多様な人材の活躍に努めております。

## 株主の皆様へのメッセージ

事業環境の変化から、財務体質改善スピードは、中計策定時よりも早まっております。これらを踏まえて、2018年度の配当は前

年比30円増配の80円といたします。

当社グループの収益水準は着実に改善しており、2019年度以降も収益機会を確実に享受するとともに、財務体質とのバランスを考慮しながら、株主還元への比重を従来よりも高めていきたいと考えております。

引き続き、財務体質の改善と各事業の競争力を高め、社員が誇れる「いい会社」、持続的に成長できる「続く会社」をめざしながら、中計で掲げた目標を完達すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には今後も末永くご支援いただけますようお願い申し上げます。



2018年度  
1株当たり期末配当金  
**80**円

### <sup>\*</sup>持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGsは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標



## TOPICS



### 石油開発事業 アブダビ石油設立50周年

コスモエネルギーグループであるアブダビ石油は、12月10日、アブダビ石油の創立50周年とヘイル油田の商業生産開始(2017年11月)を記念し、アラブ首長国連邦のアブダビ首長国にて式典を開催しました。式典には、アブダビ首長国政府、アブダビ国営石油会社(Abu Dhabi National Oil Company) 最高石油評議会(Supreme Petroleum Council:SPC)をはじめ、総勢580名の方にご来場いただきました。

式典ではこれまで50年に亘って築き上げた信頼・友好関係を更に深める良い機会となりました。

アブダビ石油創立50周年記念式典の様子



### 石油元売業界初 「プラチナくるみん」企業に認定

コスモエネルギーグループのコスモ石油が、次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定(通称:プラチナくるみん認定<sup>※</sup>)制度におきまして、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」企業に認定されました。

第6次連結中期経営計画の基本方針である「グループ経営基盤の強化」において、ダイバーシティの促進は重要なテーマとなっています。多様なバックグラウンドを持つ社員が活躍でき、生産性向上や新たな価値が創出できる環境整備を、より一層推進してまいります。

※ 「プラチナくるみん認定」とは、次世代法に基づき、「子育てサポート企業」として既に「くるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が認定を受けることのできる特例認定制度です。





### 主なグループ会社

コスモエネルギー開発  
アブダビ石油/カタール石油開発  
合同石油開発(持分法適用会社) 他

### 主な資産



原油埋蔵量  
(確認・推定)

167百万バレル

約18年分の供給量に相当  
(2018年12月末時点)



原油生産数量  
(グループ合計)

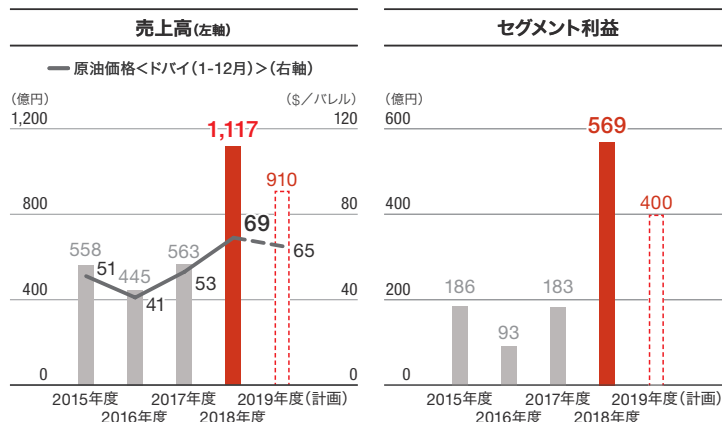
約5万バレル/日

精製能力比 約13%  
(2018年1月~12月実績)



パートナーシップ

50年にわたる  
産油国との強固な信頼関係



### 当期のポイント

- ✓ 2018年1月よりヘイル油田がフル生産を継続し、経常利益は569億円(前年比+386億円)

### 次期に向けて

- ✓ ヘイル油田から最大限、原油を回収するため、2019年度のヘイル油田の生産数量を抑制し、2次回収※に向けた対応を進める
- ✓ 2次回収へ向けた対応が完了した後は、従来予定していた生産数量に回復する見込み

※ 2次回収: 原油生産により低下した油層圧力を回復させるために、水やガスを圧入し、生産数量を増加させる方法

### より良い社会の実現へ向けて

#### 環境保護活動

ヘイル油田は国際連合教育科学文化機関(UNESCO)に登録された環境保護区に位置し、同油田の開発にあたっては、入念な調査・検討を行い、油井掘削時に発生する掘屑や排水は地下の専用井に埋め戻しています。加えて原油生産時の随伴ガスを燃焼しないゼロフレア操業を同時に実施しており、完全な「廃棄ゼロ操業」を実現しています。







### 主なグループ会社

コスモ石油 / コスモ石油マーケティング /  
コスモ石油販売 / コスモ石油ルブリカンツ /  
総合エネルギー / ジクシス (持分法適用会社) /  
キグナス石油 (持分法適用会社) 他

### 主な資産



原油処理能力\*

40万バレル/日

国内シェア 約11.4%



国内SS数

サービスステーション(SS)数

2,792箇所



コスモ・ザ・  
カード会員数

約433万枚

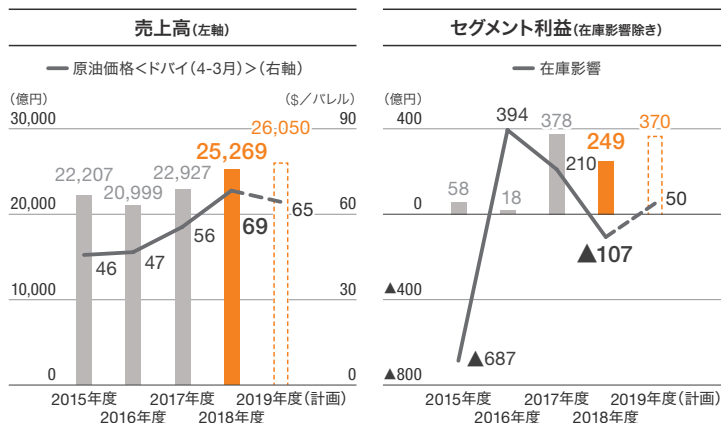


マイカーリース  
事業

累計60,579台

2019年3月末現在

※ 事業提携に基づく出光昭和シェルグループからの3.7万バレル日相当の製品、半製品の供給も含む



### 当期のポイント

- ✓ 適正マージンを確保した一方、製油所の定期修繕や一部不具合による装置停止及び、将来の定期修繕引当などにより在庫影響除き経常利益は249億円(前年比▲129億円)

### 次期に向けて

- ✓ 適正マージンを確保し、昨年度発生した製油所の一部不具合影響が解消
- ✓ 2020年から始まるIMO規制に対応するため、堺製油所のコーカー能力増強や、キグナス向けの供給開始などの対応を進める

### より良い社会の実現へ向けて

#### マイカーリースを提供

個人のお客様との接点が多いというSSの強みを活用し、2011年より個人向けカーリースを提供しています。SSでの燃料油割引システムや、国産の全メーカーから車種を選べること等がお客様に好評で、累計契約台数は2018年度末で60,579台となりました。





### 主なグループ会社

丸善石油化学／コスモ松山石油／  
CMアロマ／  
ヒュンダイ・コスモ・ペトロケミカル(HCP)  
(持分法適用会社) 他

### 主な資産



エチレン生産能力

129万トン/年\*

国内シェア 約19%



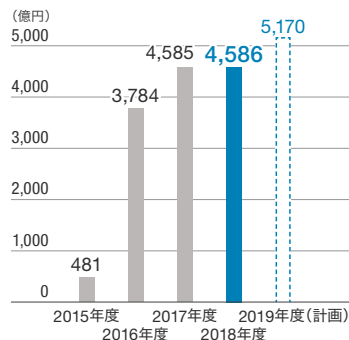
パラキシレン生産能力

118万トン/年

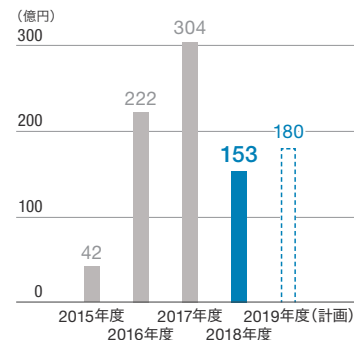
2019年3月末現在

\* 京葉エチレン(丸善石油化学が55%を出資する連結子会社)の生産能力を含む

### 売上高



### セグメント利益



### 当期のポイント

- 市況下落及び、石油化学工場の定期修繕影響による販売数量減少などにより経常利益は153億円(前年比▲151億円)

### 次期に向けて

- グループ会社の丸善石油化学は、昨年度の定期修繕解消により販売数量増加
- 石油化学工場の安全・安定稼働を実現

### より良い社会の実現へ向けて

紙おむつ等の組み立てに用いられるホットメルト接着剤の原料製造

世界的に紙おむつ等の衛生材料の需要が拡大するにつれ、紙おむつ等の組み立てに用いられるホットメルト接着剤の原料である水素化石油樹脂の需要が増加しております。水素化石油樹脂の需要にこたえるため、2018年に製造及び販売を行う千葉アルコン製造を、当社、丸善石油化学及び荒川化学工業の3社で、設立いたしました。引き続き、コスモエネルギーグループにおけるシナジーの創出を追求し、石油化学における協業について様々な検討を進めてまいります。





## その他事業

(再生可能エネルギー事業等)

RENEWABLE ENERGY  
BUSINESS AND OTHERS

### 主なグループ会社

エコ・パワー／コスモエンジニアリング／  
コスモトレードアンドサービス 他

### 主な資産



風力発電容量

22.7万kW

全国第3位・国内シェア6%

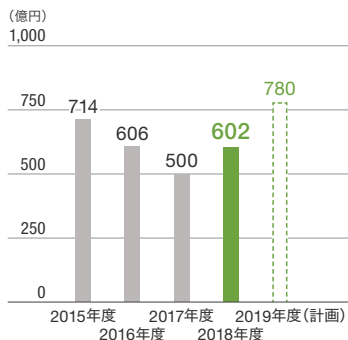


風車数

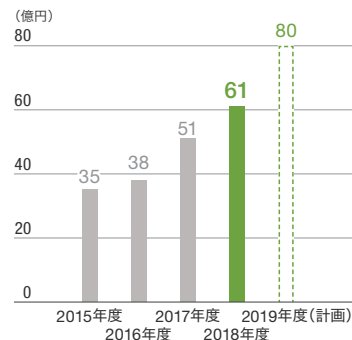
162基 (23地域)

2019年3月末現在

### 売上高



### セグメント利益



### 当期のポイント

- ✓ 2017年度下期に運転開始した山形県の酒田港宮海・大浜風力発電所や、北海道の石狩湾新港風力発電所による発電能力増加等のため、経常利益は61億円(前年比+10億円)

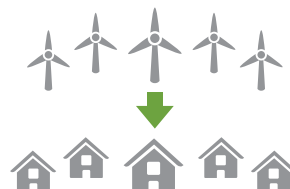
### 次期に向けて

- ✓ 度会2期(三重県、2万2千kW)、姫神(岩手県、1万8千kW)両風力発電所が2019年4月より運転開始
- ✓ 2021年度の運転開始に向け、中紀(和歌山県、4万8千kW)風力発電所の新規開発を推進
- ✓ 洋上風力発電のプロジェクトへ参画し、長期的な事業拡大をめざす

### より良い社会の実現へ向けて

#### エネルギー自給率の向上へ

資源の乏しい日本において、環境負荷のない純国産のエネルギー源として期待される風力発電を中心とした再生可能エネルギーの拡大により、エネルギー自給率の向上に貢献しています。2018年度は、約15万世帯分の電力を供給しました。



2018年度実績 約15万世帯分

特集

## コスモエネルギーグループのCSR経営

# 「安全操業」で安定的にエネルギーを供給することが私たちの使命です。

コスモエネルギーグループでは経営理念の「持続的発展」を実現するため、グループ全体でESG(環境・社会・安全とガバナンス)の観点でCSR経営を推進しています。



「コスモ石油安全の日」に記念碑を前に安全を誓いました

### ▶ 「安全」を守り企業価値向上へ

当社グループでは、企業行動指針の第1章で「安全で事故のない企業グループであり続けます」を掲げています。当社グループにとって「安全」は企業価値向上のための重要な基盤だと考えており、当社グループのESGの中のGについては「ガバナンス」に「安全」の視点を加えています。「安全」は当社グループが事業を行っていく上で、最も大切にしていることのひとつです。

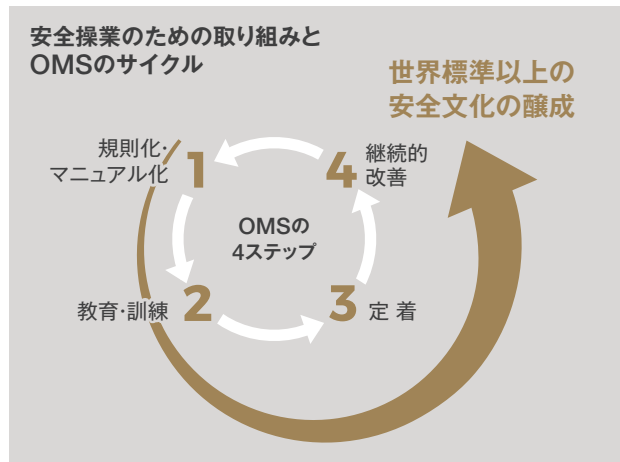
### ▶ コスモ石油の「安全」への取り組み

コスモ石油では2016年1月より全社統一の操業マネジメントシステム(OMS)を導入しました。通常、事故は偶然発生するのではなく、何らかの不備や不良などが重なりあった時に発生します。

OMSの導入によって、事故を防ぐために必要な設備、管理、人の「あるべき姿」を明らかにしました。その上で必要なルールを整備し、確実に実践できるように教育し、加えて実績を評価・改善していくことで、適正な操業管理の維持と継続的な改善を体系的に実施できるようになりました。

OMSでは、「社内のみならず、社外で発生した不具合についても調査し、必要な対策を行う」ことが定められており、コスモ石油本社・製油所の関係者が参加して議論し、必要な対策を話し合う水平展開フォローアップ会議を定期的 to 実施し、不安全不具合の削減に努めています。また、毎年3月11日を「コスモ石油安全の日」とし、事故の事象・原因・再発防止策などを編集したDVDをグループ全社員が視聴するとともに、各地で安全講演会の開催や記念碑設置など、過去の事故を風化させないための様々な取り組みを行っています。

これらの安全施策を継続的に改善しながら取り組んできたことにより、不具合件数は減少傾向となっています。



## ▶ 世界標準以上の安全文化の更なる醸成に向けて

コスモ石油では、連結中期CSR計画において安全へのコミットメントとして「重大事故ゼロの継続」を掲げています。世界トップレベルの安全操業・安定供給の実現に向け、引き続き安全操業に努め、社員一人ひとりが誰かの指示に基づいて安全対策を講じるのではなく、自発的に考えて行動する「世界標準以上の安全文化」を醸成していく仕組みを整備してまいります。



### 製油所の安全文化

製油所では、敷地内の建物にある階段を使う際には必ず手すりにつかまらなければならないルールになっています。日々の小さな行動についても無意識にならないよう、このようなルールを定め「安全」な行動が自然と身につくように取り組んでいます。

## CSRの現場から

地道に、実直に。  
自ら考え、自ら行動し、  
安全を守り続ける。

コスモ石油株式会社  
千葉製油所 安全推進課長  
竹村 正春



千葉製油所安全推進課では、製油所の安全を守るため安全施策の企画・実行を担当しております。安全施策については関係者一人ひとりに担ってもらう役割も多いので、施策をスムーズに進めやすくするために教育・訓練等のサポートも実施しております。

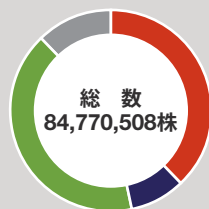
安全は機械が支えているものではなく、人が支えている仕組みであり、手をあげれば「危険」というボールは転がりはじめます。安全施策を着実に実行するためには関係者の理解が必要ですので、自分の視点だけに偏らず、柔軟な視点を持ち「相手がどう理解したかを確認する」というコミュニケーションが大切になります。安全に関する規則も、内容を説明するだけでなく、その背景にある目的を理解してもらうことで、実際の行動に変化が現れると考えています。加えて、業務で忙しい時でもプライベートな時間をゆっくりと過ごすことができ心身の健康を維持できる組織であることが、安全を支えるために非常に重要だと考えております。

安全には近道はありません。地道に実直に関係者と対話し、信頼を得て信頼されつづけることが大切だと考えています。今後は、これまでの安全施策を着実に実行するとともに、更なる安全施策について「自ら考え、自ら行動する」という、安全文化の醸成に努めてまいります。

## 会社概要

商号	コスモエネルギーホールディングス株式会社
証券コード	5021
本社所在地	〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号 電話(03)3798-3180
発足年月日	2015年(平成27年)10月1日
資本金	400億円

## 発行済株式



■ 金融機関・証券会社(信託口を含む)	32,188千株(38.0%)
■ 国内法人(自己株式を含む)	7,579千株(8.9%)
■ 外国人	34,681千株(40.9%)
■ 個人・その他	10,320千株(12.2%)

(単位:千株未満切り捨て)

## 大株主 (2019年3月末現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Infinity Alliance Limited (インフィニティ アライアンス リミテッド)	17,600	20.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,800	6.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,963	3.49
株式会社 みずほ銀行	2,522	2.97
関西電力株式会社	1,860	2.19
CREDIT SUISSE AG, DUBLIN BRANCH PRIME CLIENT ASSET EQUITY ACCOUNT	1,627	1.91
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,580	1.86
株式会社三菱UFJ銀行	1,580	1.86
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,579	1.86
コスモエネルギーホールディングス取引先持株会	1,408	1.66

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には、「役員報酬BIP信託」により信託銀行が所有する株式は含まれておりません。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 支払株主確定日	3月31日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/notice/index.html">https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/notice/index.html</a>
上場取引所	東証一部

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

見直しに関する  
注意事項

この「事業のご報告」に含まれる将来の業績などの記述は、現時点における情報に基づき判断されたものです。こうした記述は経営環境の変化などにより変化する可能性があり、当社としてその確実性を保証するものではありません。



## 第4回定時株主総会決議ご通知

2019年6月20日(木曜日)開催の当社第4回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

### 報告事項

- 1 第4期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2 第4期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

本件は、上記2件の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号 議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当につきましては、当社普通株式1株につき金80円と決定いたしました。

#### 第3号 議案 監査等委員である取締役2名選任の件

本件は、原案どおり神野 榮および高山 靖子の両氏が選任され、就任いたしました。

#### 第2号 議案 取締役(監査等委員である者を除く。)7名選任の件

本件は、原案どおり森川 桂造、桐山 浩、野地 雅禎、鈴木 康公、植松 孝之、ムサツバ・アル・カービおよびカリファ・アル・スウェイディの各氏(7名)が選任され、それぞれ就任いたしました。

#### 第4号 議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり湯川 莊一氏が選任されました。



## 期末配当金のお支払いについて

第4期期末配当金は同封の「期末配当金領収証」により、払渡期間内(2019年6月21日から2019年7月31日まで)にお近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

また、銀行振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

また、銀行に預金口座をお持ちの場合は、「期末配当金領収証」を当該銀行の窓口にご持参になれば、同口座へのご入金もできます。

ただし、金融機関預金へのご入金手続きは、表記払渡しの期間最終日の3営業日前までに限ります。

以上

サービスステーション  
コスモSSの  
ご紹介



山陰石油株式会社

セルフステーション  
米子中央



## お客様に信頼して任せいただけるサービスを提供していきます。

セルフステーション米子中央では、それぞれのお客様に適したサービスをご提案することを大切にしています。スタッフ全員が、勉強会や日々の業務、接客コンテストへの出場を通じて、お客様に納得いただけるようなサービスを提供できるよう努力しています。

今後も、車検やリース、中古車・新車の販売、万一の時の保険や修理など、お客様のすべてのニーズに応えられるワンストップサービス体制を整え、接客を通じてお客様との信頼関係を築いてまいります。

### サービスステーション基本情報



所在地 鳥取県米子市西福原  
3丁目6-49  
営業時間 24時間営業  
電話番号 0859-33-8817



### アンケートの回答が、 WEBで出来るようになりました！

アンケートにお答えいただきました株主様の中から、抽選で5,000名様にご2020年版当社オリジナルカレンダーをプレゼントいたします。

ご応募は、アンケートはがき、パソコンサイト、モバイルサイトからお願いします。皆様のご応募をお待ちしております。



PC  
サイト

<https://form.cosmo-oil.co.jp/mailform/showform.aspx?fid=2019031502>



モバイル  
サイト



こちらから  
ご覧ください

シーズ・メール  
C's MAIL Vol. 86

誌名『C's MAIL(シーズ・メール)』には、「C(コスモ)の手紙」の意味を込めました。株主の皆様、心の通った情報を提供したいという当社グループの願いをこの名前に託しています。

発行

コスモエネルギーホールディングス株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ  
〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号  
TEL(03)3798-3180 FAX(03)3798-3841



IRモバイルサイト

モバイルサイトへは、このQRコードからアクセスできます。



コスモレポート2018

コスモレポートでは、「Oil & New」をスローガンとした第6次連結中期経営計画についてだけでなく、CSR計画や社外取締役からの提言などについても、分かりやすく総合的に情報を掲載しております。是非、ご参照ください。



IRメールマガジンが、PCでも  
ご利用いただけるようになりました

最新IRニュースをお届けいたします。下記URLにPCからアクセスのうえ、ご登録ください。

[https://cosmooil.co.jp/ir\\_mail\\_magazine/](https://cosmooil.co.jp/ir_mail_magazine/)

### 表紙写真について

コスモ石油千葉製油所の夜景。  
千葉製油所はコスモ石油最大、日本でもトップクラスの原油処理能力を持ち、日々の生活に欠かせない石油製品を首都圏を中心に東日本全域へ供給しております。

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK